

平成 28 年度  
一般社団法人神奈川県作業療法士会  
第 3 回 社員総会  
議案書

期日：平成 28 年 5 月 14 日（土）午後 2 時～午後 4 時  
会場：ユニコムプラザさがみはら bono 相模大野  
住所：神奈川県相模原市南区相模大野 3 丁目 3-2  
電話：042-701-4370

一般社団法人 神奈川県作業療法士会

事務所

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301

Tel&Fax：045-663-5997 <http://kana-ot.jp/>

E-mail：[jimu@kana-ot.jp](mailto:jimu@kana-ot.jp)

（JR 根岸線関内駅より徒歩 10 分）

## 目 次

総会次第	1
一般社団法人神奈川県作業療法士会 中・長期計画	2
第1号議案 2015年度（平成27年度）事業報告	4
第2号議案 2015年度（平成27年度）決算報告ならびに監査報告	22
第3号議案 2016年度（平成28年度）事業計画（案）	23
第4号議案 2016年度（平成28年度）予算（案）	30
第5号議案 名誉会員について	31

## 資 料

・一般社団法人神奈川県作業療法士会 平成28・29年度 社員一覧	32
・平成27年度 後援・協賛等一覧	33
・平成27年度 賛助会員一覧	33
・平成27年度 他組織・団体等の県士会代表委員名簿	34
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図	35
・第4期（平成27年度）理事・監事名簿	36
・第4期（平成27年度）各部・委員名簿	37
・各部・委員会分掌事項	38
・一般社団法人神奈川県作業療法士会会員数結果（平成27年度版）	40

## 平成 28 年度 一般社団法人神奈川県作業療法士会

### 第 3 回 代議員総会 総会次第

1. 開会のことば
2. 議長団選出（議長、副議長）
3. 総会役員選出（書記、議事運営委員、議事録署名人）
4. 会長挨拶
5. 議事運営委員会報告
6. 総会成立宣言
7. 議案
  - 第 1 号議案 平成 27 年度（2015 年度）事業報告
  - 第 2 号議案 平成 27 年度（2015 年度）決算報告ならびに監査報告
  - 第 3 号議案 平成 28 年度（2016 年度）事業計画（案）
  - 第 4 号議案 平成 28 年度（2016 年度）予算（案）
  - 第 5 号議案 名誉会員について
8. 議長団の解任
9. 閉会のことば

# (一社) 神奈川県作業療法士会 中・長期計画

平成 27 年度 (2015 年度) ～平成 30 年度 (2018 年度)

一般社団法人神奈川県作業療法士会次期 4 か年計画

神奈川県作業療法士会では、平成 23 年度 (2011 年度) から平成 26 年度 (2014 年度) の 4 か年の中・長期計画を設定し、実行してきた。そして、平成 26 年度 (2014 年度) の総会において、日本作業療法士協会が策定している次期の 5 か年計画を参考に、理事会で検討した平成 27 年度 (2015 年度) からの次期中・長期計画の承認を得た。今回は、実行直前の確認の意味を込めて、一般社団法人神奈川県作業療法士会次期 4 か年計画の骨子を提示する。

## 1 目的

県民に対して、質の高い作業療法を提供するため、会員個々の専門性、経験年数などに対応した知識・技術の向上を図ることを目的とする。このためには、積極的に自己研鑽できる機会の提供とそれを支える学術的基盤のさらなる整備が必要である。

## 2 計画期間

2011 年度策定の計画に従い、全体の長期的な期間を 4 年間、このうち中期的期間として、前期 (2015、2016 年度)・後期 (2017、2018 年度) の各 2 年間とする。

## 3 中・長期計画の内容

### 1) 長期計画

- (1) 知識・技術の研鑽
- (2) 県民への作業療法の提供と普及
- (3) 会員の県士会活動へ積極的に参加できる体制の整備

### 2) 中期計画

- (1) 学術的基盤のさらなる強化ならびに整備

県民の健康を支える学術団体として、学会活動などを通して会員の知識、技術の蓄積の継続、さらなる作業療法効果の検証を通して学術基盤の整備を実施する。

- (2) 臨床的課題への取り組み

医療・福祉サービスを必要としている県民に対し、必要にして十分なサービス提供できる知識・技術を向上する。

- (3) 卒後教育の充実

新たな生涯教育制度を基に積極的に自己研鑽できる体制を整備する。

(4) 県士会組織への所属意識の向上

WFOT 会議の実行で得られた県士会会員相互の交流経験を基に、県内会員相互の交流を持続し強化させる。公益性を求められる一般社団法人の会員であるという自覚、社会的責任を再確認できる組織づくりを展開する。

また、会員一人ひとりのニーズに応えられるよう、各部・委員会から効率的・効果的な情報提供の検討を通し、組織としての一体感を高められるような法人の運営をめざす。

(5) 作業療法の普及・啓発

学術団体として患者・家族会などの団体を支援することを通して、より有効な当事者支援を検討する。また、広く県民に対して、作業療法の広報活動を持続する。広報媒体の工夫と広報先を再検討する。

(6) 県内関係団体との交流の強化

法人格を一段高めるためにも、また、公益社団格が与えられた場合には特に強化すべき課題。神奈川県医療専門職連合会をはじめとした、各種関係団体との定期的、継続的な交流・折衝のさらなる強化を進める。

(7) 法人管理と運営

事務局機能の強化、定款など法的な整備、法人に関わる情報の整備と管理を徹底する。

(8) 公益社団法人への移行の検討

一般社団法人と公益社団法人とのメリット・デメリットに関する情報および検討の場を提供する。

# 第 1 号議案 平成 27 年度（2015 年度）事業報告

## 事務局

事務局長 福留大輔

### 1. 総会の実施

#### (1) 第 3 回社員総会

日時：平成 27 年 5 月 31 日（土）15:30～

場所：横浜リハビリテーション専門学校

社員（代議員）代議員総数 61 名の内、参加者 51 名、委任状 10 通で総会成立。

第 1～5 議案は満場一致で成立。

### 2. 三役会・理事会の開催及び運営：三役会 9 回、理事会 6 回 計 15 回

- |         |       |         |              |
|---------|-------|---------|--------------|
| (1) 三役会 | 第 1 回 | 平成 27 年 | 7 月 1 日（水）   |
|         | 第 2 回 | 平成 27 年 | 8 月 12 日（水）  |
|         | 第 3 回 | 平成 27 年 | 9 月 2 日（水）   |
|         | 第 4 回 | 平成 27 年 | 10 月 16 日（金） |
|         | 第 5 回 | 平成 27 年 | 11 月 6 日（金）  |
|         | 第 6 回 | 平成 27 年 | 12 月 18 日（金） |
|         | 第 7 回 | 平成 28 年 | 1 月 15 日（金）  |
|         | 第 8 回 | 平成 28 年 | 2 月 3 日（水）   |
|         | 第 9 回 | 平成 28 年 | 3 月 2 日（水）   |
| (2) 理事会 | 臨時    | 平成 27 年 | 5 月 31 日（土）  |
|         | 第 1 回 | 平成 27 年 | 7 月 9 日（木）   |
|         | 第 2 回 | 平成 27 年 | 9 月 10 日（木）  |
|         | 第 3 回 | 平成 27 年 | 11 月 12 日（木） |
|         | 第 4 回 | 平成 28 年 | 2 月 10 日（木）  |
|         | 第 5 回 | 平成 28 年 | 3 月 10 日（木）  |

### 3. 会員の管理に関すること

(1) 平成 27 年度入会者：170 名

(2) 郵便收受：1005 通

### 4. 会員・関連団体に対する窓口業務

### 5. 文書・資料等の管理

(1) 公文書発行：第 859 号～第 1007 号、計：788 通

### 6. 資産の維持・管理に関すること

### 7. 介護認定審査会や自立支援法等に関する窓口

(1) 県内 7 市町村（横浜市、平塚市、川崎市、厚木市、小田原市、相模原市、藤沢市）より依頼あり

### 8. 県士会会員の情報統計の作成及び管理

(1) 県士会会員データベースの管理・運用

(2) 神奈川県士会会員実態調査について I T 化の導入を検討

## 9. 県内 OT 養成校卒業見込み在校生への県士会入会勧誘活動

### 部

### 財務部

部長 佐藤良枝

#### 1. 収入および支出の管理

(1) 決算書作成

(2) 予算案編成

(3) 監査実施

中間監査：平成 27 年 10 月 24 日

(4) 会計処理確認・整理

(5) 会計説明会開催

理事・会計担当者向け：平成 27 年 7 月 17 日・8 月 4 日・8 月 5 日

第 16 回県学会実行委員向け：平成 28 年 2 月 17 日

(6) 円滑な会費納入支援

#### 2. 部内会議（年 2 回その他随時メールにて連絡・協議）

#### 3. 情報発信

財務部のブログ「財務's Jobs」開設

### 学術部

部長 福留大輔

#### 1. 研修会事業（スキルアップ研修事業）

合計 7 回の研修会を企画・開催。

(1) 身体障害系企画 2 回

1) 『高次脳機能障害の基礎～半側空間無視・記憶障害編～』

講師：早川 裕子先生 作業療法士（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

開催日：平成 27 年 10 月 25 日（日） 会場：ウィリング横浜

参加数：73 名

2) 『まるわかり！～1 年目からの脳卒中の基礎と作業療法のポイント～』

講師：酒井 由香里 先生 作業療法士（横浜新都市脳神経外科病院）

尾崎 聡 先生 医師（えびな脳神経外科）

開催日：平成 27 年 12 月 13 日（日） 会場：横浜 YMCA 学院専門学校

参加数：45 名

(2) 精神障害系企画 2 回

1) 『家族と支える、家族を支える』

講師：内山 繁樹 先生（関東学院大学看護学部）

松本 やす子 先生（家族ピアサポート相談員、浜家連常任理事）

開催日：平成 27 年 11 月 29 日（日） 会場：ウィリング横浜

参加数：9 名

2) 『動機づけ面接を学ぼう』

講師：澤山 透 先生 医師（北里大学医学部精神科学）

開催日：平成 28 年 3 月 27 日（日） 会場：藤沢市民会館

参加数：20 名

(3) 老年期障害系 1 回

1) 『作業療法士のための摂食嚥下障害の評価と支援技術』

講師：佐藤 彰紘 先生 作業療法士（目白大学）

開催日：平成 28 年 1 月 17 日（日） 会場：ウィリング横浜

参加数：30 名

(4) 臨床実習指導者研修 1 回

1) 『はじめての実習指導！～実習生が伸びる指導とは？～』

講師：佐藤 良枝 先生 作業療法士（曾我病院）

藤本 一博 先生 作業療法士（茅ヶ崎新北陵病院）

石川 哲也 先生 作業療法士（済生会神奈川県病院）

開催日：平成 27 年 11 月 29 日（日） 会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加数：30 名

(5) トピクス研修 1 回

1) 『働きやすい職場作りと起業のコツ～プロに聞く、実践マネジメント～』

講師：川本 愛一郎 先生 作業療法士 言語聴覚士（有限会社 リハシップあい）

開催日：平成 27 年 11 月 20 日（金） 会場：横浜市開港記念会館

参加数：17 名

2. 学術誌刊行事業

『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2016 Vol.6 No.1』を発刊。

3. 研究助成事業

(1) 研究代表者：赤塚 花実

研究課題：『意味のある作業への参加促す作業療法の治療戦略に関する研究』

(2) 研究代表者：林 慎也

研究課題：『脳卒中患者における手指機能のテーピングの効果』

以上の 2 課題を承認した。

## 教育部

部長 奥原孝幸

### 1. 研修会開催 \*生涯教育制度基礎研修（必修研修）

（1）現職者共通研修；全 10 テーマ開催

（2）現職者選択研修；2 領域開催（全 4 領域のうち）

<2 平成 27 年年度 現職者（共通・選択）研修一覧>

	テーマ	講師	開催日	会場	参加数
現職者 共通 研修	作業療法生涯教育概論	奥原孝幸氏	10/10	横浜リ	50
	作業療法の可能性	錠内広之氏	10/10	ハビリ	51
	職業倫理	福留大輔氏	10/10	テーシ	54
	作業療法における協業・後輩育成	岩上さやか氏	10/11	ョン専	45
	事例報告と事例研究	水野 健氏	10/11	門学校	48
	実践のための作業療法研究	鈴木久義	11/23		50
	保健・医療・福祉と地域支援	木下 剛氏	11/23	ウィリ	49
	日本と世界の作業療法の動向	神保武則氏	11/23	ング	49
	事例検討		2/21	横浜	41
	事例報告		2/21		36
				小計	473
選 択	精神障害領域の作業療法	川口敬之氏 武井寛道氏	1/31	ウィリ ング	44
	身体障害領域の作業療法	白濱勲二氏他	2/11	横浜	62
				小計	106
			合計	579	

### （3）事例報告登録制度研修会

講師：奥原孝幸氏（OT 協会教育部生涯教育制度推進担当者・神奈川県立保健福祉大学）

日時：平成 27 年 11 月 23 日（日）会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加数：46 名

### 2. 生涯教育制度の広報、啓蒙、推進

県士会ウェブサイト、県士会ニュースを通じた広報

### 3. SIG 団体の登録管理

1 団体を認定

### 4. 生涯教育制度に関する手続き

ポイント申請手続きの実施など

### 5. その他生涯教育制度関連事項

ウェブサイトやメール等での問い合わせへの対応

## 広報部

部長 神保武則

### 1. 班活動（ニュース編集／対外広報）

#### （1）ニュース編集班

1）ニュースの発行：平成27年5月（173号）～平成28年3月（178号）

①発行回 年6回 ②発行月 奇数月末 ③印刷部数 1820部（177号）

④発行部数 1820部（177号）正会員 1789部、賛助会員・他団体 97部

⑤規格 A4縦 8～12頁 ⑥求人広告の掲載

#### 2）運営

編集長（班長）1名 班員2名 編集長は原則理事会に出席

#### 3）ニュースの印刷発送作業

レイアウト・印刷・発注作業ともに高陽印刷所に委託

発行作業時間を短縮し、部員の負担を軽減させた

#### 4）ウェブサイト委員会との意見交換

#### （2）対外広報班（作業療法啓発活動）

1）運営：班長1名 会計1名 企画長3名 班員8名

班長・会計・企画長は広報部会に出席

班長は理事会に2回出席

2）対外広報活動：一般県民・学生・関連職種に対しそれぞれ活動継続

#### ①一般県民を対象とした活動

・相模原市民祭り「さくらまつり」への自助具作成体験ブース出展 4月

・ヨコハマヒューマンテクノランド（YOTEC）への作業活動体験ブース出展 7月

・NHKフォーラム「骨を知るフォーラム」への参加・展示ブース出展 7月

・「骨を知るフォーラム」のテレビ放映 9月

・中区民祭「ハローよこはま」での体験ブース出展 10月

#### ②学生を対象とした活動

・新宿セミナーでの相談ブース出展 7月

・学生対象とした施設見学・説明の実施 8月

・中学校・高校へ学生用パンフレットの郵送 7月

#### ③関連職種を対象とした活動

・神奈川県介護支援専門員研究大会へのブース出展 10月

・地域リハビリテーションフォーラムでのブース出展 3月

#### ④広報促進活動

・ウェブサイト管理委員会協力のもと、対外広報ブログの作成

・広報促進グッズの作成

・中・高校生向け職業紹介マガジン「さくらノート」編集者との情報収集

#### 3）その他の活動

#### ①OT協会事業との連携

## ②医療専門職連合会との協力

7月より事務局が作業療法士会となり、部長は事業企画・広報委員会に出席し書記。

## 福利部

部長 吉本雅一

### 1. 新入会員オリエンテーションおよび歓迎会の開催

開催日：平成27年10月10日(土) 会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加数：会員34名、理事・役員：9名、福利部：9名 計：52名

### 2. 求人・求職の登録および情報提供

#### (1) 県士会ウェブサイトへの求人情報の掲載依頼受付

新規掲載依頼延べ総件数：320件

#### (2) 求職者・ウェブサイトへの求人情報掲載希望施設等の問い合わせへの情報提供・相談業務の実施

#### (3) 求人・求職者が利用しやすいような円滑なシステムの調整

(ウェブサイト管理委員会と共同)

### 3. 各種表彰活動

#### (1) 日本作業療法士協会特別表彰に該当する会員の推薦等

推薦受賞者：渡邊慎一氏(社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団  
横浜市総合リハビリテーションセンター)

#### (2) 神奈川県保健衛生表彰に該当する会員の推薦等

推薦受賞者：浅井憲義氏(医療法人社団永生会 永生クリニック研究開発センター、  
北里大学名誉教授)

#### (3) 厚生労働大臣賞に該当する会員の推薦等

平成27年度は該当者なし

#### (4) その他に該当する会員の推薦等

該当者なし

### 4. 倫理問題についての対応業務

日本作業療法士協会倫理要綱の遵守と職業倫理の徹底と日本作業療法士協会との連携強化

平成27年度の倫理相談窓口への相談は0件

### 5. 各領域に特化した職場見学会の開催

#### (1) 平成27年度第1回職場見学会(身体障害領域編)

開催日：平成27年7月29日(水)

会場：医療法人社団 緑野会 みどり野リハビリテーション病院

テーマ：「意味ある離床に向けた取り組み」 講師：平石暢之氏 参加数：5名

#### (2) 平成27年度第2回職場見学会(身体障害領域編)

開催日：平成28年3月19日(土)

会場：医療法人社団 明芳会 イムス横浜狩場脳神経外科病院

テーマ：『～となりの職場見学 見て・聞いて・体験して～』『低周波刺激療法を併用した上肢・手指訓練の実際』

講師：福留大輔氏(協力：伊藤超短波株式会社 荒井慧氏) 参加数：10名

## 6. 正会員の日常の活動紹介とコミュニケーション作り

正会員の日常の活動にスポットライトをあて、その実際や考えを紹介(県士会ニュース、県士会 WEB サイトで)し、会員間の相互理解やコミュニケーションの活性化等を推進

### (1) 平成 27 年度第 1 回

内容：「グループホーム運営編」(2015.7月号ニュース、WEB サイトで掲載)

「地域で活躍する OT」をテーマとして、グループホームの起業・運営について

執筆者：立心会 坂の上の家 富所明夫氏

### (2) 2015 年度第 2 回

内容：「介護支援専門員編」(2016.1月号ニュース、WEB サイトで掲載)

「地域で活躍する OT」をテーマとして、『地域とつながっていくこと～OTとして、介護支援専門員として～』と題し、OT でもある介護支援専門員の活動について

執筆者：医療法人 愛心会 地域包括支援センター湘南鎌倉 宮谷清美氏

## 地域リハビリテーション部

部長 遠藤 陵晃

### 1. 研修担当

研修会名	講師	開催日	会場	参加数
多職種精神保健福祉セミナー (第 5 回 OT・PSW 合同研修会)	安原映子氏 大島美和氏 松井次郎氏 斎藤梢氏	9/5	ウィリング横浜	35 名 (PSW 含)
地域リハビリテーション人材 育成研修会	大庭潤平氏 山口智晴氏 木村修介氏	10/25	ウィリング横浜	計 34 名
				79 名

以下の研修会等を開催

※訪問リハ関連の研修会は平成 26 年度より神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の事業に移行

※MTDLP、認知症の事業に関して平成 27 年度より各特設委員会へ事業移行

### 2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及のため下記事業を実施。

#### (1) 難病 (ALS) 支援スキルの普及

- 1回の講習会を実施（参加者 24 名）またメーリングリストやブログで情報を発信
- (2) 訪問リハ事業所のウェブサイト掲載（神奈川県内全事業所）  
ウェブサイト内コンテンツ「地域の“輪・和・わ”」に掲載中
- (3) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会との情報交換
- (4) 県の委託事業である神奈川県介護予防従事者研修会の協賛  
OT 士会から講師派遣、スタッフ派遣
- (5) 県の委託事業であるリハビリテーション等介護予防指導研修会の協力  
OT 士会から講師派遣

### 3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する

- (1) 障がい者団体の活動調査  
各団体の発行・発刊物にて活動を把握
- (2) 地域支援事業の情報収集およびその対応  
県内市区町村の情報収集

## 制度対策部

部長 野本義則

### 1. 社会保障制度対策事業

- (1) ブログによる保険情報の伝達  
ブログによる日本作業療法士協会保険部の情報を平均月 2 回発信した。
- (2) 社会保障制度に関する講習会の実施  
「医療介護制度外で活躍する作業療法士 自立生活アシスタント事業への関わり」  
講師：野々垣睦美氏（特定非営利活動法人脳外傷友の会ナナ クラブハウスすてっぷ  
なな）開催日：平成 28 年 3 月 26 日(土) 会場：茅ヶ崎市勤労市民会館  
参加数： 14 名
- (3) 部会の開催 年 1 回

### 2. 福祉用具対策事業

- (1) 福祉用具に関する情報収集・提供  
「福祉用具相談支援システム」の開始 アドバイザー4名設置 相談数 2 件
- (2) 福祉用具に関する研修会の開催

研修名	講師	開催日	会場	参加数
PT・OT スキルアップ 研修 基礎編	須藤 淳 氏 中川 翔次 氏	9/6	ウィリング 横浜	OT 9 名
PT・OT スキルアップ 研修 上級編	沼田 一恵 氏 大寺 亜由美氏 桑田 哲人 氏	11/8、12/5	ウィリング 横浜	OT 1 名

- (3) 他職能団体よりの講師派遣等に関すること
  - 1) 国際福祉機器展協力

福祉用具相談コーナーへ相談員を派遣した

(4) 部会の開催 年2回

### 3. 災害対策事業

(1) 災害対策に関する医療関連情報の収集

インターネット、書籍による情報収集の実施

災害対策に関連する講演等への参加

(2) 県内・県外災害対策会議への参加と調整

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会の推進委員会への参加

(3) 災害時に対応可能な会員間連絡網の整備

次年度の整備に向けた情報収集の実施

(4) 災害対策に関する会員向け研修会開催

他団体との共催に向けた話し合いの実施

## 常設委員会

## 規約委員会

委員長 名古屋和茂

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討

引き続き、定款及び諸規則・規程の管理を行った

2. 公益社団法人取得に向けての準備

本会の公益社団法人移行に係る諸情報を引き続き収集した

3. 他都道府県士会における法人設立・変更登記の支援

今年度は支援の実績はなかった

## ウェブサイト管理委員会

委員長 作田浩行

1. 県士会サイトの管理とアクセス件数 ※H28年3月末現在

	更新件数				アクセス件数		
	総件数	講習会	求人情報	その他	全ページの 総プレビュー数	1日あたりの プレビュー数	カウンター
H27/04	70	24	15	31	124359	4145.3	6783
05	70	43	21	6	116174	3747.5	5857
06	91	32	38	21	120227	4007.6	6449
07	65	31	16	18	116545	3759.5	6148

08	108	38	29	41	108141	3488.4	5955
09	62	36	14	12	111540	3718.0	5693
10	67	31	28	8	127580	4115.5	6177
11	78	32	39	7	118873	3962.4	5930
12	52	24	20	8	107339	3462.5	6104
H28/01	62	33	22	7	116277	3750.9	6643
02	78	27	35	16	122234	4215.0	6322
03	64	27	27	10	114912	3706.8	6775
合計	867	378	304	185	1404201	平均 3836.6	74836
前年との比較	+140	+98	+21	+21	+190861	平均+512.4	+5239

2. 新着メールマガジン「kanaからの手紙」の発信  
登録者数：185名、発行数：254件 ※H28年3月末現在
3. Twitter・Facebook  
Twitterフォロワー：283名、Facebookいいね！：191名 ※H28年3月末現在
4. 県士会サイトの広報  
県士会ニュースに、県士会会員への県士会サイト周知を目的に記事を掲載している
5. 県学会および県大会のIT支援  
第2回神奈川県臨床作業療法大会および第16回神奈川県作業療法学会の開催へ向けてIT支援を実施している

## 学会評議委員会

委員長 内山博之

1. 第15回神奈川県作業療法学会の開催支援と学会記録集の作成（学会文書規程）  
開催日：平成27年4月19日（日） 会場：横浜リハビリテーション専門学校  
学会長：水島 眞由美氏（横浜リハビリテーション専門学校）
2. 第2回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会設置の支援及び連絡調整  
開催日：平成28年8月7日（日） 大会長：遠藤陵晃氏（クローバーホスピタル）
3. 第16回神奈川県作業療法学会の実行委員会設置の支援及び連絡調整  
開催日：平成29年 学会長：玉垣努氏
4. 委員会の開催5回
5. 神奈川県作業療法学会及び臨床作業療法大会の手引書の作成

## 特設委員会

### 公益法人化対策委員会

委員長 名古屋和茂

1. 部会の開催
  - (1) 部署内の会議 年2回
  - (2) その他必要となる部署及び関連機関（事務局、顧問会計士、規約委員会等）との連携調整会議 年1回
2. 公益法人格対応の定款および規約等の検討
3. 公益法人化に関する情報収集

### 生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 木村修介

日本作業療法士協会の活動に協調して、生活行為向上マネジメント活用の普及・推進する。

1. 生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催

研修会名	開催日	場所	参加数
基礎研修会	7/4, 7/25, 8/8, 2/7, 3/19	横浜リハビリテーション専門学校	261名
基礎A	6/5, 7/24	横浜YMCA学院専門学校	19名
基礎B	8/9, 8/22, 8/23	横浜リハビリテーション専門学校	47名
演習I	6/26, 8/7	横浜YMCA学院専門学校	18名
演習II	7/3	横浜YMCA学院専門学校	13名
演習III	7/17	横浜YMCA学院専門学校	8名
事例作成	9/4	横浜YMCA学院専門学校	41名
事例検討	1/31, 3/6	横浜YMCA学院専門学校	29名

2/7時点の神奈川県士会の基礎研修修了者数 288名 16.2%（会員数 1,776名）

<OT協会のグランドデザイン>

H28年終了時まで達成する目標 ⇒ 基礎研修修了者 会員数の60%

2. 生活行為向上マネジメントを活用している事業所の把握  
ウェブアンケート実施 ⇒ 未実施
3. 生活行為向上マネジメント活用の協力事業所の募集  
ウェブアンケート実施 ⇒ 未実施

# 認知症事業対策委員会

委員長 村越妙美

1. 県士会会員向けの研修会開催：年 1 回
2. 県士会会員への情報提供
3. 認知症関連の県内活動状況の情報収集と関連団体との協力体制を取る

## 第 2 号議案 平成 27 年度（2015 年度）決算報告

### ならびに監査報告

1. 平成 27 年度（2015 年度）決算報告

平成28年4月21日

## 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 平成27年度決算報告

### 収入の部

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	備考
<b>会費収入</b>	<b>13,042,000</b>	<b>0</b>	<b>13,042,000</b>	<b>13,341,900</b>	
正会員会費収入	12,952,000			13,264,900	入会金含む
賛助会員会費収入	90,000			77,000	
<b>研修会費収入</b>	<b>3,476,500</b>	<b>0</b>	<b>3,476,500</b>	<b>2,742,250</b>	
福祉用具研修	30,000			22,000	
現職者共通研修	500,000			471,000	
現職者選択研修	300,000			387,000	
スキルアップ研修	800,000			478,000	
地域リハ講習会	30,000			28,250	
生活行為向上マネジメント	1,816,500			1,356,000	
<b>助成金収入</b>	<b>170,000</b>	<b>0</b>	<b>170,000</b>	<b>220,000</b>	
地域活動費	20,000			20,000	
日本OT協会助成金				50,000	
生涯教育講座	150,000			150,000	
<b>広告収入</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	<b>200,000</b>	<b>130,000</b>	
<b>雑収入</b>	<b>85,000</b>	<b>0</b>	<b>85,000</b>	<b>1,198,801</b>	
<b>利息</b>				<b>2,341</b>	
			<b>0</b>		
<b>運営費取り崩し</b>	<b>2,000,000</b>	<b>0</b>	<b>2,000,000</b>	<b>0</b>	
<b>収入合計</b>	<b>18,973,500</b>	<b>0</b>	<b>18,973,500</b>	<b>17,635,292</b>	

## 支出の部

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	増減・残
<b>事務局</b>	<b>7,755,560</b>	<b>500,000</b>	<b>8,255,560</b>	<b>8,071,090</b>	<b>184,470</b>
給与手当	2,900,000	400,000	3,300,000	3,447,321	▲ 147,321
福利厚生費	20,000		20,000	9,552	10,448
会議費	150,000		150,000	136,770	13,230
旅費交通費	600,000	100,000	700,000	753,361	▲ 53,361
消耗品費	170,000		170,000	163,162	6,838
印刷製本費	100,000		100,000	111,409	▲ 11,409
修繕費	20,000		20,000	0	20,000
賃借料	1,600,560		1,600,560	1,477,440	123,120
光熱水費	230,000		230,000	210,181	19,819
広告宣伝費	40,000		40,000	38,880	1,120
渉外費	100,000		100,000	146,200	▲ 46,200
通信運搬費	400,000		400,000	426,969	▲ 26,969
委託費	400,000		400,000	443,644	▲ 43,644
諸謝金	220,000		220,000	0	220,000
負担金	520,000		520,000	444,520	75,480
消耗備品費	100,000		100,000	129,879	▲ 29,879
備品費	0		0	0	0
その他活動費	150,000		150,000	107,072	42,928
雑費	30,000		30,000	6,480	23,520
法人住民税	0		0	0	0
租税公課	5,000		5,000	18,250	▲ 13,250
<b>財務部</b>	<b>51,400</b>	<b>0</b>	<b>51,400</b>	<b>17,413</b>	<b>33,987</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	6,400		6,400	2,000	4,400
旅費交通費	15,000		15,000	5,660	9,340
消耗品費	10,000		10,000	8,215	1,785
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000
修繕費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	10,000		10,000	1,430	8,570
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
雑費	0		0	108	▲ 108
<b>教育部</b>	<b>652,400</b>	<b>0</b>	<b>652,400</b>	<b>599,516</b>	<b>52,884</b>
福利厚生費	14,400		14,400	36,744	▲ 22,344
会議費	24,000		24,000	25,600	▲ 1,600
旅費交通費	74,000		74,000	70,899	3,101
消耗品費	5,000		5,000	3,535	1,465
印刷製本費	125,000		125,000	79,896	45,104
修繕費	0		0	0	0
賃借料	180,000		180,000	162,940	17,060
渉外費	3,000		3,000	0	3,000
通信運搬費	12,000		12,000	19,902	▲ 7,902
委託費	0		0	0	0
諸謝金	215,000		215,000	200,000	15,000
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
雑費	0		0	0	0
<b>学術部</b>	<b>1,716,000</b>	<b>0</b>	<b>1,716,000</b>	<b>956,129</b>	<b>759,871</b>
福利厚生費	52,000		52,000	26,752	25,248
会議費	112,000		112,000	59,220	52,780
旅費交通費	123,000		123,000	74,436	48,564
消耗品費	16,000		16,000	18,575	▲ 2,575
印刷製本費	681,000		681,000	453,331	227,669
修繕費	0		0	0	0
賃借料	76,000		76,000	65,822	10,178
渉外費	10,000		10,000	0	10,000
通信運搬費	217,000		217,000	17,635	199,365
委託費	0		0	0	0
諸謝金	424,000		424,000	240,250	183,750
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
雑費	5,000		5,000	108	4,892

<b>広報部</b>	<b>3,189,500</b>	<b>3,189,500</b>	<b>2,785,829</b>	<b>403,671</b>
福利厚生費	52,500	52,500	10,032	42,468
会議費	98,000	98,000	36,087	61,913
旅費交通費	93,000	93,000	56,696	36,304
消耗品費	178,000	178,000	317,774	▲ 139,774
印刷製本費	1,125,000	1,125,000	730,679	394,321
修繕費	0	0	0	0
賃借料	110,000	110,000	109,600	400
渉外費	3,000	3,000	0	3,000
通信運搬費	1,341,000	1,341,000	1,384,275	▲ 43,275
委託費	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0
消耗備品費	180,000	180,000	140,362	39,638
備品費	0	0	0	0
雑費	9,000	9,000	324	8,676
<b>福利部</b>	<b>184,190</b>	<b>0</b>	<b>184,190</b>	<b>44,192</b>
福利厚生費	20,000	20,000	19,290	710
会議費	24,400	24,400	25,100	▲ 700
旅費交通費	42,000	42,000	36,960	5,040
消耗品費	1,500	1,500	1,347	153
印刷製本費	49,530	49,530	22,287	27,243
修繕費	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0
通信運搬費	12,760	12,760	4,582	8,178
委託費	0	0	0	0
諸謝金	30,000	30,000	30,000	0
負担金	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0
雑費	4,000	4,000	432	3,568
<b>地域リハビリテーション部</b>	<b>394,100</b>	<b>0</b>	<b>394,100</b>	<b>33,481</b>
福利厚生費	17,600	17,600	12,068	5,532
会議費	39,200	39,200	31,404	7,796
旅費交通費	74,400	74,400	82,695	▲ 8,295
消耗品費	3,000	3,000	14,782	▲ 11,782
印刷製本費	85,000	85,000	68,606	16,394
修繕費	0	0	0	0
賃借料	30,300	30,300	49,602	▲ 19,302
渉外費	1,600	1,600	1,494	106
通信運搬費	19,400	19,400	9,247	10,153
委託費	0	0	0	0
諸謝金	122,100	122,100	90,613	31,487
負担金	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0
雑費	1,500	1,500	108	1,392
<b>制度対策部</b>	<b>421,000</b>	<b>0</b>	<b>421,000</b>	<b>302,159</b>
福利厚生費	35,000	35,000	21,230	13,770
会議費	58,000	58,000	23,505	34,495
旅費交通費	86,000	86,000	61,250	24,750
消耗品費	21,000	21,000	8,731	12,269
印刷製本費	39,000	39,000	32,061	6,939
修繕費	0	0	0	0
賃借料	30,000	30,000	67,440	▲ 37,440
渉外費	8,000	8,000	1,296	6,704
通信運搬費	26,500	26,500	8,276	18,224
委託費	0	0	0	0
諸謝金	110,000	110,000	76,750	33,250
負担金	0	0	0	0
消耗備品費	1,000	1,000	0	1,000
備品費	0	0	0	0
雑費	6,500	6,500	1,620	4,880

<b>規約委員会</b>	<b>3,000</b>	<b>0</b>	<b>3,000</b>	<b>0</b>	<b>3,000</b>
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0
旅費交通費	1,000	0	1,000	0	1,000
消耗品費	1,000	0	1,000	0	1,000
印刷製本費	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	1,000	0	1,000	0	1,000
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
<b>ウェブサイト管理委員会</b>	<b>40,000</b>	<b>0</b>	<b>40,000</b>	<b>23,158</b>	<b>16,842</b>
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	11,800	0	11,800	8,800	3,000
旅費交通費	20,000	0	20,000	13,076	6,924
消耗品費	7,000	0	7,000	162	6,838
印刷製本費	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	1,200	0	1,200	1,120	80
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
<b>学会評議委員会</b>	<b>62,000</b>	<b>0</b>	<b>62,000</b>	<b>49,383</b>	<b>12,617</b>
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	24,000	0	24,000	12,661	11,339
旅費交通費	30,000	0	30,000	33,982	▲ 3,982
消耗品費	1,000	0	1,000	0	1,000
印刷製本費	1,000	0	1,000	0	1,000
修繕費	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	5,000	0	5,000	2,740	2,260
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
雑費	1,000	0	1,000	0	1,000
<b>選挙管理委員会</b>	<b>400,000</b>	<b>0</b>	<b>400,000</b>	<b>26,451</b>	<b>373,549</b>
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	5,491	▲ 5,491
旅費交通費	0	0	0	6,890	▲ 6,890
消耗品費	47,000	0	47,000	864	46,136
印刷製本費	30,000	0	30,000	5,570	24,430
修繕費	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	218,400	0	218,400	7,528	210,872
委託費	30,000	0	30,000	0	30,000
諸謝金	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
雑費	74,600	0	74,600	108	74,492

<b>公益法人化対策委員会</b>	<b>50,800</b>	<b>0</b>	<b>50,800</b>	<b>19,390</b>	<b>31,410</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	14,800		14,800	0	14,800
旅費交通費	25,000		25,000	2,920	22,080
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	0		0	0	0
修繕費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	10,000		10,000	0	10,000
通信運搬費	1,000		1,000	270	730
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
雑費	0		0	16,200	▲ 16,200
<b>生活行為向上マネジメント推進委員会</b>	<b>1,310,000</b>	<b>0</b>	<b>1,310,000</b>	<b>917,564</b>	<b>392,436</b>
福利厚生費	9,600		9,600	17,303	▲ 7,703
会議費	21,600		21,600	8,000	13,600
旅費交通費	120,000		120,000	71,592	48,408
消耗品費	1,000		1,000	972	28
印刷製本費	159,000		159,000	87,653	71,347
修繕費	0		0	0	0
賃借料	391,000		391,000	349,374	41,626
渉外費	3,000		3,000	0	3,000
通信運搬費	8,000		8,000	14,238	▲ 6,238
委託費	0		0	0	0
諸謝金	587,650		587,650	368,000	219,650
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	2,000		2,000	0	2,000
備品費	2,300		2,300	0	2,300
雑費	4,850		4,850	432	4,418
<b>認知症対策委員会</b>	<b>44,000</b>	<b>0</b>	<b>44,000</b>	<b>5,320</b>	<b>38,680</b>
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	16,000		16,000	756	15,244
旅費交通費	20,000		20,000	2,860	17,140
消耗品費	1,000		1,000	0	1,000
印刷製本費	1,000		1,000	0	1,000
修繕費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	5,000		5,000	1,596	3,404
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
雑費	1,000		1,000	108	892
<b>助成金</b>	<b>2,000,000</b>	<b>0</b>	<b>2,000,000</b>	<b>1,900,000</b>	<b>100,000</b>
県学会助成	1,500,000		1,500,000	1,500,000	0
研究助成	400,000		400,000	400,000	0
行事費助成	100,000		100,000	0	100,000
<b>活動費合計</b>	<b>18,273,950</b>	<b>500,000</b>	<b>18,773,950</b>	<b>16,174,019</b>	<b>2,599,931</b>
<b>積立金</b>	<b>500,000</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	<b>1,200,000</b>	<b>▲ 700,000</b>
臨床大会積立	300,000		300,000	1,200,000	▲ 900,000
事務局積立	100,000		100,000	0	100,000
退職金積立	100,000		100,000	0	100,000
<b>予備費</b>	<b>0</b>	<b>▲ 500,000</b>			
<b>次期繰越金</b>				<b>261,273</b>	
<b>支出合計</b>	<b>18,773,950</b>		<b>18,773,950</b>	<b>17,635,292</b>	

### 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金	8,287,995	預り金	25,745
		負債合計	25,745
		純資産の部	
		【株主資本】	
		資本金	1,635,000
		繰越利益剰余金	6,627,250
		純資産合計	8,262,250
資産合計	8,287,995	負債・純資産合計	8,287,995

### 損益計算書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

(単位 円)

科目	金額	金額
【売上高】		
会費収入	13,341,900	
研修会会費収入	2,742,250	
雑収入	1,198,801	
広告掲載料	130,000	
補助金	220,000	17,632,951
売上総利益金額		17,632,951
【販売費および一般管理費】		17,374,019
営業利益金額		258,932
【営業外収益】		
雑収入		2,341
経常利益金額		261,273
税引前当期純利益金額		261,273
当期純利益金額		261,273

## 財産目録

平成28年3月31日現在(決算)

勘定科目		繰越残高	
資産の部	流動資産	小口現金	0
		(現金)	0
		当座預金	1,284,760
		ゆうちょ銀行振替口座	1,284,760
		普通預金	5,368,235
		ゆうちょ銀行	40,920
		三菱UFJ銀行	14,565
		横浜銀行 一般社法人用	1,247,773
		横浜銀行 財務部	33,988
		横浜銀行 教育部	52,894
		横浜銀行 学術部 分野別	309,519
		横浜銀行 学術部 学術誌	420,477
		横浜銀行 学術部 研究助成班	30,004
		横浜銀行 広報部	46,934
		横浜銀行 広報部 ニュース班	179,234
		横浜銀行 広報部 対外広報班	195,400
		横浜銀行 福利部	44,199
		横浜銀行 地域リハビリテーション部	33,493
		横浜銀行 規約委員会	3,000
		横浜銀行 制度対策部	17,083
		横浜銀行 制度対策部福祉用具委員会	34,744
		横浜銀行 制度対策部福祉用具委員会 研修会	55,297
		横浜銀行 災害対策班	29,172
		横浜銀行 制度対策部社会保障制度対策委員会	13,559
		横浜銀行 ウェブサイト管理委員会	16,842
		横浜銀行 学会評議委員会	12,619
		横浜銀行 公益法人化対策委員会	31,413
		横浜銀行 生活行為向上マネジメント推進委員会	392,470
		横浜銀行 認知症対策委員会	38,683
		横浜銀行 選挙管理委員会	373,614
		横浜銀行 行事費	100,016
		横浜銀行 研究助成金	8
横浜銀行 臨床研究大会	54		
横浜銀行 事務局積立	1,000,163		
横浜銀行 退職金積立	600,098		
(流動性預金)	6,652,995		
定期預金	1,635,000		
ゆうちょ銀行	1,635,000		
(固定制預金)	1,635,000		
(預金)	8,287,995		
[現金預金]	8,287,995		
[その他流動資産]	0		
<b>【流動資産】</b>	<b>8,287,995</b>		
<b>【資産の部】</b>	<b>8,287,995</b>		

## 2. 監査報告

### 監事意見書

一般社団法人神奈川県作業療法士会  
会長 錠内 広之 殿

意見書作成日 平成28年4月23日

監事 清宮 良昭 

監事 田中 ゆかり 

1. 私たちは、一般社団法人神奈川県作業療法士会の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの会計年度の本会の財務諸表、すなわち収支決算書、貸借対照表及び財産目録を監査し、それに基づいて本士会の財産及び業務遂行状況を監査いたしました。
2. 財務諸表の監査にあつては、私たちが必要と認めた監査手続きを実施いたしました。
3. 監査の結果、私たちは、本士会の平成28年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

## 第3号議案 平成28年度（2016年度）事業計画（案）

### 事務局

事務局長 福留大輔

#### 1 総会運営

##### (1) 第3回社員総会

日時：平成28年5月14日（土） 14：00～

会場：ユニコムプラザさがみはら bono 相模大野

#### 2 三役会・理事会運営

##### (1) 三役会 年間8回開催予定

##### (2) 理事会 年間6回開催予定

県士会部員の承認及び後援依頼、その他急な審議が必要な案件は、理事ミーリングリストにおいて審議を行なう。

#### 3 会員の管理

##### (1) 会員名簿を安全かつ正確な会員管理を行うためにより安全なIT化の推進を検討

#### 4 会員に対する業務

#### 5 関連団体等に対する業務

#### 6 文書の管理と発行

#### 7 資料の管理

##### (1) 保管する資料や備品等が増加傾向である。現在貸金庫で対応しているが、今後事務局内に金庫を設置し、資料などの管理出来るよう検討する

#### 8 県士会部・委員会との連携・協力体制の構築

##### (1) 事務局の会議及び部・委員会との連携会議を年6回程度開催予定

#### 9 会員の確保

#### 10 その他各部に属しないことに関する事

### 部

#### 財務部

部長 佐藤良枝

#### 1. 収入及び支出の管理

##### (1) 決算書作成

##### (2) 予算案編成

##### (3) 監査実施

##### (4) 各部門会計処理方法を毎月確認

- (5) 会計説明会開催
- (6) 県学会・臨床大会会計マニュアル案作成
- (7) 円滑な会費納入支援

## 2. 財務情報の活用に関する検討

- (1) 財務部のブログ「財務's Jobs」運営  
情報発信と会費納入関係情報の集約により会員の利便性向上を図る
  - (2) 県士会ニュース、県士会サイトでの情報発信
  - (3) 県士会財務情報の見える化の検討
3. 関係部門との連携（会議への出席など）
4. 部内会議（年2回）
5. その他財務に関すること

## 学術部

**部長 福留大輔**

県士会員に対する基礎教育以後の学術活動支援を目的とし、臨床実践能力の育成を目指す。また、会員間の知識・技術の共有を促進し、「ともに学び、助け合う」ことを援助する。事業内容は、研修会の企画・運営、学術誌編集・発行、研究助成事業運営の3事業を展開する。

### 1. 研修会事業（スキルアップ研修事業）

身体障害系企画3回、精神障害系企画2回、老年期障害系1回、臨床実習指導者研修1回、トピクス研修1回の計8回の研修会を企画・開催する予定  
また、開催時期、開催場所について、年度を通じて時期、会場ともバランスよく開催する

### 2. 学術誌刊行事業

県士会発展に寄与する研究・実践の知見を会員間で共有するとともに、県士会の研究・実践活動を内外へ広報すること目的とする

『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2016 Vol.7』の編集・発行を行なう予定

### 3. 研究助成事業

会員間での知見の共有、活動の広報を目的とし、1課題を推薦予定  
会員間での知見の共有促進のために、研究課題は複数法人の研究者から構成され、組織で課題にあたって頂き、また関連学会への応募や学術誌等への投稿にて成果を公表する予定

## 教育部

**部長 奥原孝幸**

- 1. 研修会開催 \*OT協会生涯教育制度基礎研修（必修研修）

- (1) 現職者共通研修：全 10 テーマ開催
- (2) 現職者選択研修：必須内容を含め 2 領域以上の開催
- 2. 日本作業療法士協会生涯教育制度部局との連携
- 3. 事例報告登録制度の広報、事例報告登録推進研修会開催  
日本作業療法士協会と連携しながらの県士会主催研修会の開催
- 4. 生涯教育制度の広報、啓蒙、推進  
県士会ウェブサイトや県士会ニュースを通じたわかりやすい広報
- 5. SIG の登録管理
  - (1) SIG の登録と管理
  - (2) SIG 管理内規の作成
- 6. 生涯教育制度に関する手続き  
ポイント手続きなどの制度関連手続きの広報と手続きの実施
- 7. その他生涯教育制度関連事項  
県士会ウェブサイトやメールでの質問への迅速な対応

## 広報部

部長 神保武則

- 1. ニュース編集班
  - (1) ニュースの発行：平成 28 年 5 月（179 号）～平成 29 年 3 月（184 号）
    - 1) 発行回 年 6 回 2) 発行月 奇数月末 3) 印刷部数 2000 部
    - 4) 規格 A4 縦 12～20 頁 5) 求人広告の掲載
  - (2) 運営  
編集長（班長）1 名 班員 2 名 班員は増員予定
  - (3) ニュースの印刷発送作業  
レイアウト・印刷・発注作業ともに高陽印刷所に委託  
丁寧で誠実対応が確認できたため引き続き依頼する
- 2. 対外広報班（作業療法啓発活動）
  - (1) 運営
    - 1) 班員構成について  
広報活動を地区別にブロック化し、各ブロックにブロック長を置く  
ブロックは、次の 6 ブロックを候補とする  
A) 横浜・川崎 B) 相模原 C) 県央 D) 県西 E) 湘南 F) 横須賀・逗子三浦  
2016 年度より徐々に実現していく
    - 2) 運営会議  
班長・会計・ブロック長は広報部会に出席する 班長は理事会に 2 回出席（年度初めと年度末） 広報対象者は、一般県民・学生・関連職種とし、ブロックごとに地域の特性に合致した対外広報計画を広報部会で検討する
  - (2) 対外広報活動内容

1) 一般県民を対象とした活動

- ①横浜ブロック ヨコハマヒューマンテクノランド (YOTEC) へのブース出展 7月
- ②横浜ブロック 中区民祭「ハローよこはま」での健康ブース出展 10月
- ③相模原ブロック相模原市民祭り「さくらまつり」への健康ブース出展 4月
- ④全ブロック JAふれあい講座での介護予防講座・ブース出展 未定

2) 学生を対象とした活動

- ①横浜ブロック 新宿セミナーでの講演及びブース出展
- ②全ブロック 中学校・高校へ学生用パンフレットの郵送
- ③全ブロック 学校への職業講話訪問活動

3) 関連職種を対象とした活動

- ①開催地未定(担当は横浜ブロック)神奈川県介護支援専門員研究大会ブース出展
- ②開催地未定 地域リハビリテーションフォーラムへのブース出展

4) 広報促進活動

- ①県士会パンフレットの作製
- ②広報促進グッズの作製

3. 部全体の活動 年に3回程度の定例会を予定

## 福利部

### 部長 吉本雅一

神奈川県作業療法士会会員の入会推進や福利厚生、各種活動の発展に寄与し、研修会・交流会、ウェブサイトや県士会ニュース等を活用し、情報の提供・交換・発信や交流の活発化を推進していく

1. 新入会員オリエンテーション&入会歓迎会の開催

新入会員オリエンテーションおよび入会歓迎会を、神奈川県作業療法士会の入会式と位置づけ開催(新入会員主対象に、他部と連動して企画し、調整開催)する  
会員間の交流が活発となる場の提供

2. 求人・求職の推進活動

- (1) 県士会ウェブサイトへの求人情報の掲載受付を行う
- (2) 求職者・ウェブサイトへの求人情報掲載希望施設等、問い合わせに対し情報提供・相談業務を行う
- (3) 求人・求職者が利用しやすいような円滑なシステムの作りを行う

3. 各種表彰に基づく活動

日本作業療法士協会の特別表彰規定に該当する会員の推薦を、神奈川県作業療法士会の推薦・運用規定に基づき行う

- (1) 厚生労働省や県庁など、行政団体にに基づく表彰の該当者の推薦作業
- (2) 関連団体にに基づく表彰の該当者の推薦作業
- (3) 神奈川県作業療法士会の表彰規定と運用の検討

4. 倫理問題についての対応業務

日本作業療法士協会倫理要綱を遵守し、日本作業療法士協会と連携して職業倫理の遵守を推進していく

- (1) 神奈川県作業療法士会会員に対し、倫理にもとる言動・対応（主にセクシャルハラスメント・パワーハラスメント等）があった場合の相談・対応業務を行う

#### 5. 会員間交流の場の提供

- (1) 領域やテーマ別の職場見学会の開催  
全ての会員を対象とし、他職場の会員と情報交換、スキルアップを行い、交流を図る
- (2) 正会員の日常の活動紹介とコミュニケーションのきっかけづくり  
正会員の活動にスポットライトをあて、その活動や考えを紹介し、会員間の相互理解やコミュニケーションの機会を提供する

#### 6. 新入会の推進活動

- (1) 入会手続きの見直しの検討
- (2) 新入会員向け企画の計画と実施(他部と連携し、研修会＋入会歓迎会の実施　その他企画の立案・調整)
- (3) 新入会員への入会済み案内の作成と配布

## 地域リハビリテーション部

### 部長 遠藤陵晃

地域リハビリテーション部では、神奈川県内における在宅・施設で活躍する作業療法士に、知識・技術の提供をおこなうと共に、それぞれの連携を促し、ネットワークの構築に寄与する

また会員だけではなく関係諸機関や障がい者など県民とのネットワークづくりにも努め、地域リハビリテーションがより円滑に実践されることを目指す

#### 1. 研修担当

- (1) 「多職種精神保健福祉セミナー（第6回 OT・PSW 合同研修会）」企画・開催
- (2) 「地域リハビリテーション人材育成研修会（第2回）」企画・開催

#### 2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及を目指す

- (1) 難病（ALS）支援スキルの普及（年1回の講習会など）
- (2) 訪問リハ事業所のウェブサイト掲載（神奈川県内全事業所）
- (3) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会との情報交換
- (4) 県の地域・介護予防関連研修会などの協力

#### 3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する

- (1) 地域支援事業の活動調査
- (2) 障がい者団体の活動調査

- (3) 地域リハビリテーション人材バンク設立に向けての情報収集

## 制度対策部

部長 野本義則

1. 社会保障制度対策事業
  - (1) 作業療法に関わる社会保障制度(医療保険・介護保険・自立支援法など)の情報収集
  - (2) ブログ・ニュースなどによる保険情報などの広報
  - (3) 社会保障制度に関する情報発信
2. 福祉用具対策事業
  - (1) 福祉用具に関する会員向け研修会開催 (5回)
  - (2) 福祉用具に関する情報提供, 相談支援
  - (3) 他団体からの要請に対し, 福祉用具関連講師の派遣
3. 災害対策事業
  - (1) 災害対策に関する情報の収集
  - (2) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (JRAT) との連携
  - (3) 協会および県内他団体との災害対策の連携
  - (4) 会員安否確認および被災状況確認のシステム整備

## 常設委員会

### 規約委員会

委員長 名古屋和茂

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討
2. 法人変更登記の申請準備
3. 他都道府県士会における法人設立登記・変更登記の支援等
4. 関連機関と連携し、公益法人申請の支援

### ウェブサイト管理委員会

委員長 作田浩行

1. 基本概念
  - IT 技術を活用することで、作業療法関連情報・県士会関連情報を確実に発信する
  - (1) 一般の方
    - 作業療法について知ることができる⇒作業療法を使いたい人、作業療法士になりたい人を増やす、県民の健康の増進に寄与する

(2) 県士会員

県士会情報のデータベースとなる⇒いつでも県士会について必要な情報を閲覧できる

2. 活動計画

(1) 県士会サイトの企画・管理・運営

(2) 県士会電子メール<kaot@kana-ot.jp>の受付

(3) 県士会関連のメールアカウントおよびメーリングリストの管理

(4) 新着メールマガジン「kanaからの手紙」の発信

(5) ウェブサイト管理委員会公式 Twitter および Facebook の管理・運営

(6) 県士会サイトの広報（県士会ニュースでのウェブサイト通信の掲載など）

(7) 県学会および県大会の IT 支援

(8) その他

## 学会評議委員会

委員長 内山博之

1. 第2回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会への支援および連絡調整
2. 第16回神奈川県作業療法学会の実行委員会への支援および連絡調整
3. 第3回神奈川県臨床作業療法大会長の推薦
4. 学会および大会マニュアルの作成
5. 第3回臨床大会・第17回学会の予算案の再検討
6. 委員会開催5回
7. 今後のスケジュール

平成28年度（2016年度）	第2回神奈川県臨床作業療法大会
平成29年度（2017年度）	第16回神奈川県作業療法学会
平成30年度（2018年度）	第3回神奈川県臨床作業療法大会
平成31年度（2019年度）	第17回神奈川県作業療法学会
平成32年度（2020年度）	第4回神奈川県臨床作業療法大会

## 特設委員会

## 公益法人化対策委員会

委員長 名古屋和茂

1. 部会の開催

(1) 部署内の会議 年2回

(2) その他必要となる部署及び関連機関（事務局、顧問会計士、規約委員会等）との連携調整会議 年1回

2. 公益法人格対応の定款および規約等の作成
3. 公益法人化に関する情報収集

## 生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 木村修介

日本作業療法士協会の活動に協調して、生活行為向上マネジメント活用の普及・推進に取り組む。

1. 生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催  
生活行為向上マネジメント研修会 3回
2. 生活行為向上マネジメントを活用した事例の集積  
事例作成研修会 3回  
事例報告研修会 3回
3. 生活行為向上マネジメントを活用している事業所の把握  
ウェブアンケート実施
4. 生活行為向上マネジメント活用の協力事業所の募集  
ウェブアンケート実施

## 認知症事業対策委員会

委員長 村越妙美

県民、地域住民の方々に認知症への理解を深めるための普及・啓発活動や、認知症の予防、認知症のリハビリテーション、認知症のケア等専門職としての支援活動、地域の医療・介護などを連携させるための活動等、県士会員の活動を推進していく

1. 県民および関連職種に対して認知症を理解してもらう機会として啓蒙活動を行う
2. 県士会会員向けの研修会開催：年1回
3. 県士会会員への情報提供  
ニュースやウェブサイトを活用する
4. 部会の開催：年2回
5. 認知症関連の県内活動状況の情報収集と関連団体との協力体制を取る

## 第4号議案 平成28年度（2016年度）予算（案）

1. 平成28年度（2016年度）予算案（別紙記載・当日配布）

## 第5号議案 名誉会員の承認について

1 名誉会員について 以下二名について理事会より推薦する

(1) 田中 節子 先生

浅井 憲義 先生

<資料>

1. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 平成28・29年度 社員一覽

定数： 60名 定数算定日： 平成27年10月1日

登録社員数： 60名 登録日： 平成28年

〔内訳〕 Aブロック（横浜・川崎・相模原市） 35名

Bブロック（県域：政令指定都市を除く） 25名 合計：60名

平成28年度代議員名簿\*所属は平成28年3月末現在

Aブロック				Bブロック			
	協会番号	氏名	職場		協会番号	氏名	職場
1	7461	名古屋 和茂	横浜YMCA学院専門学校	1	14785	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院
2	15077	福留 大輔	イムス横浜狩場脳神経外科病院	2	24766	遠藤 陵晃	クローバーホスピタル
3	10802	洪江 拓郎	みんなの訪問看護リハビリステーション	3	15000	小河原 格也	神奈川県立保健福祉大学
4	5068	内山 博之	横浜リハビリテーション専門学校	4	4228	佐藤 良枝	曾我病院
5	36227	魚岸 実弦	横浜舞岡病院	5	6392	澤口 勇	藤沢病院
6	14691	木村 修介	合同会社RURA アイ・エル訪問看護ステーション	6	5468	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学
7	27817	青木 健	横浜旭中央総合病院	7	12872	藤本 一博	茅ヶ崎新北陵病院
8	36134	杉田 雄大	横浜なみきりハビリテーション病院	8	25125	松岡 太一	福井記念病院
9	16894	田中 秀和	横浜新都市脳神経外科病院	9	35645	大郷 和成	NPO法人 laule'a
10	5577	作田 浩行	昭和大学保健医療学部作業療法学科	10	30411	三杉 知子	丹沢病院
11	34347	坂内 大祐	総合川崎臨港病院	11	30746	西村 彰紀	湘南鎌倉総合病院
12	18827	湯澤 大輔	麻生リハビリ総合病院	12	37566	遠藤 毅	茅ヶ崎新北陵病院
13	30581	木下 剛	済生会横浜市東部病院	13	49362	森島 肇	国立病院機構下総精神医療センター
14	55543	井上 那築	済生会神奈川県病院	14	48721	重田 優子	ふれあい平塚ホスピタル
15	39831	片岡 直人	新戸塚病院	15	22183	小泉 雅哉	聖テレジア病院
16	25580	佐藤 隼	さがみリハビリテーション病院	16	5544	山根 剛	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
17	18708	森木 勇一郎	介護老人保健施設都筑シニアセンター	17	12801	野本 義則	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
18	8270	神保 武則	北里大学病院	18	14373	出口 弦舞	国際医療福祉大学小田原保健医療学部
19	51567	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院	19	56516	平山 康一	伊勢原協同病院
20	30473	勝山 基史	生田病院	20	57131	白鳥 達也	衣笠病院長瀬ケアセンター
21	47476	山岡 洸	佐藤病院	21	12902	柏木 珠江	湘南藤沢徳洲会病院
22	50699	桜井 大和	佐藤病院	22	33662	山崎 純一	株式会社リーフスタイル
23	39242	林 慎也	イムス横浜狩場脳神経外科病院	23	58477	阿部 沙春	衣笠病院長瀬ケアセンター
24	13168	酒井 由香里	横浜新都市脳神経外科病院	24	4319	田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター
25	54779	杉山 大和	江田記念病院	25		一木 愛子	神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター
26	38541	萩原 美里	介護老人保健施設相模原ロイヤルケアセンター				
27	21253	花形 真	相原病院				
28	7502	野々垣 睦美	クラブハウスすてっぷなな				
29	40812	小川 信行	積善会 日向台病院				
30	28344	金沢 隆之	相模原市役所高齢支援課				
31	3713	錠内 広之	日本鋼管病院				
32	30745	佐々木 秀一	北里大学病院				
33	3654	鴻井 建三	横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション部				
34	37565	井部賢吾	北里大学東病院リハビリテーション部				
35	24169	沼田 一恵	社会福祉法人横浜共生会横浜らいず				

## 2. 平成 27 年度 後援・協賛等一覧

5月17日	神奈川県保険医協会	第24回在宅医療・介護セミナー	後援
7月5日	日本関節運動学的アプローチ医学会理学・作業療法士会	日本関節運動学的アプローチ医学会理学・作業療法士会 第16回学術集会	後援
7月24日～25日	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2015	後援
9月2日～4日	公益社団法人全国老人保健施設協会	第26回全国介護老人保健施設大会神奈川in横浜	後援
10月17日	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団	かなりは フェスティバル 2015	後援
10月18日	神奈川県在宅療養支援診療所連絡会	市民公開講座第5回神奈川県在宅医療推進フォーラム	後援
10月19日	公益社団法人神奈川県病院協会	第34回神奈川県病院協会学会	後援
10月31日	公益社団法人神奈川県栄養士会	専門職の食と栄養セミナー	後援
11月3日	神奈川県保険医協会	第19回医療・健康フェスティバル	後援
11月7日～8日	一般社団法人日本義肢装具学会	第31回日本義肢装具学会学術大会	後援
11月29日	湘南リハケア実行委員会	湘南リハケア2015	後援
1月6日	特定非営利法人神奈川県介護支援専門員協会	第14回神奈川県介護支援専門員研究大会	後援
1月31日	県西地区リハビリテーション連絡協議会	リハビリフェスタ2016	後援
2月26日	公益社団法人神奈川県理学療法士会	平成27年度地域支援事業講習会	後援
3月5日	日本医療マネジメント学会	日本医療マネジメント学会 第15回神奈川支部学術集会	後援
3月12日	神奈川県総合リハビリテーション事業団	第12回かながわ地域リハビリテーション・ケアフォーラム	共催
3月13日	公益社団法人神奈川県理学療法士会	第33回神奈川県理学療法士学会	後援
3月28日	公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会	かながわ・よこはまケア連携型バリアフリー改修シンポジウム	後援

## 3. 平成 27 年度 賛助会員一覧

酒井医療株式会社 横浜営業所	株式会社 柴橋商会
学校法人昭和大学 昭和大学保健医療学部	作業療法総合研究所
医療法人社団のう教会 脳神経外科 東横浜病院	有限会社 エフ・アイエンジニアリング
「進」リハの集い	他 個人会員 1 名
株式会社 モノ・ウェルビーイング	

4. 平成27年度 他組織・団体等の県士会代表委員名簿

団体名	委員会名	役職	代表
神奈川県医療専門職連合会		会長	錠内会長
		理事	中西理事
		理事・事務局長	澤口理事
		理事・会計部長	名古屋理事
	広報委員会	委員	神保理事
神奈川県病院協会	学術委員会	事業委員	錠内会長
神奈川県介護支援専門員協会		理事	澤口理事
神奈川県リハビリテーション協議会		委員	錠内会長
	連携指針検討部会	委員	中西理事・澤口理事
地域リハビリテーション活動支援事業開始に向けた活動(横浜市)			木村理事
介護事業ワーキング(神奈川県)		委員	木村理事
神奈川県エイズ対策推進協議会			錠内会長
公益社団法人かながわ福祉サービス振興会	平成27年度神奈川県介護人材確保対策推進会議		錠内会長
神奈川県介護予防従事者研修会		運営委員	遠藤理事
神奈川県地域リハビリテーション3団体協議会		委員	木村理事
		委員	遠藤理事
		委員	佐藤準

5. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図

一般社団法人神奈川県作業療法士会

組織図（平成 27 年度）

制定日：平成 21 年 4 月 19 日

改訂：平成 24 年 4 月 15 日

改訂：平成 27 年 5 月 31 日

6. 第4期（平成27年度）理事・監事名簿

役職		氏名	勤務先	勤務体制
代表理事	会長	錠内 広之	日本鋼管病院	非常勤
理事	副会長	澤口 勇	藤沢病院	非常勤
理事	副会長	中西 浩司	北里大学東病院	非常勤
理事	事務局長	福留 大輔	イム横浜狩場脳神経外科病院	非常勤
理事	財務部	佐藤 良枝	曾我病院	非常勤
理事	学術部	鴻井 建三	横浜市立大学附属市民総合医療センター	非常勤
理事	教育部	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	非常勤
理事	広報部	神保 武則	北里大学病院	非常勤
理事	福利部	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院	非常勤
理事	地域リハビリテーション部	遠藤 陵晃	クローバーホスピタル	非常勤
理事	制度対策部	野本 義則	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	非常勤
理事	規約委員会	鈴木 久義	昭和大学保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	ウェブサイト管理委員会	作田 浩行	昭和大学保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	学会評議委員会	内山 博之	横浜リハビリテーション専門学校	非常勤
理事	公益法人化対策委員会	野々垣 睦美	クラブハウスすてっぷなな	非常勤
理事	公益法人化対策委員会	名古屋 和茂	横浜 YMCA 学院専門学校	非常勤
理事	MTDLP 推進委員会	木村 修介	合同会社 RURA アイ・エル訪問看護ステーション	非常勤
理事	認知症事業対策委員会	村越 妙美	川崎医療生活協同組合介護福祉事業部	非常勤
監事		清宮 良昭	自宅会員	非常勤
監事		田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター	非常勤
特別顧問		長谷川 元	自宅会員	非常勤
特別顧問		渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター	非常勤

7. 第4期（平成27年度）各部・委員名簿

部署名	担当理事・班名等	氏名	部署名	担当理事・班名等	氏名		
事務局	担当理事	福留 大輔	地域リハビリテーション部	担当理事	遠藤 陵晃		
	事務次長	金山 桂		会計	金沢 隆之		
		魚岸 実弦		宮沢 優	研修担当	原島 淳	山浦 菜穂
		山口 悠里		大郷 郁美		青木 紀恵	(瀧川 信乃生)
		平山 康一		井戸川 由花		浅倉 祐太郎	西村 育美
横山 早紀		白鳥達也	森木 勇一郎	木下 剛			
池田 公平		湯澤 大輔	井上 亜紀子				
財務部	担当理事	佐藤 良枝	佐藤 夢莉耶	坂内 大祐			
		杉本 尚久	新山 祐貴	西浦 淳一郎			
学術部	担当理事	鴻井 建三	福利部	担当理事	吉本 雅一		
	スキルアップ研修事業(身体系)	金田 理恵		林 慎也	西村 彰紀	池嶋 孝二	
		井上 那築		片岡 直人	畠中 佳代子	松岡 太一	
		梶原 真樹		佐藤 慶一	勝山 基史	安部 智子	
		重田 明日香		川端 遼磨	村島 由佳	鈴木 智	
	スキルアップ研修事業(精神系)	西前 英紀		川口 敬之	加世田 翼	梅田 洋平	
		望永 和美		斎藤 梢			
研究助成担当	安部 剛央	貫 久美子	担当理事	野本 義則			
学術誌担当	石川 哲也		社会保障制度対策班	山根 剛(班長)			
	学術誌編集委員	白濱 勲二	小河原 格也	工藤 美幸	奥村 容子		
		林 純子	福留 大輔	福祉用具対策事業班	沼田 一恵(班長)		
		早川 裕子	川口 敬之		金原 依理子	石渡 大地	
		澤口 勇	坂本 豊美		加藤 結花里	増田 彩子	
坂本 俊夫	高橋 香代子	田畑 雄吉	中村 元樹				
坂本 安令	渡邊 誠	宮田 和典	山崎 あゆみ				
			近藤 由季子				
教育部	担当理事	奥原 孝幸	災害対策事業班	大郷 和成(班長)			
		西尾 香苗	本藤 広美	ウェブサイト管理委員会	担当理事	作田 浩行	
		山口 由花	大場 文		福嶋 祐子	三橋 幸聖	
		福田 舞	奥田 奈津子		三森 夏穂	佐藤 範明	
		石井 有希	金子 康		浅井 翔伍		
		藤原 康子	木村 亮太		学会評議委員会	担当理事	内山 博之
		大塚 満沙	荒井 裕大			新井 祥代	
関口 直也	高林 剛	玖島 弘規	佐藤 淳				
金木 貴芳							
広報部	担当理事	神保 武則	MTDLP委員会	担当理事	木村 修介		
	ニュース班	出口 弦舞(班長)		桜井 大和	宇都宮 裕人	藤本 幹	
		(小峰 一宏)		山岡 洸	中村 元樹	(村仲 隼一郎)	
	対外広報班	酒井 由香里(班長)			三宅 純平	木村 勉	
		企画長		水野 友和	佐藤 隼	大倉 直人	平石 暢之
		会計補佐	山田 絵美		机 里恵	岩上 さやか	
	会計	久保田 友佳		普及係	今村 美和子	古口 藍	
		増田 理恵	馬場 順子		渡邊 隼人	猿丸 弥里	
			福島 ひとみ	渡邊 涼子	大沼 涼	小川 信行	
		丸井 智子	天野 沙織	公益法人化対策委員会	担当理事	野々垣 睦美	名古屋 和茂
松本 佳代子	額屋 文太	部員	杉田 雄大		青木 明子		
竹村 祐樹	花形 真	認知症事業対策委員会	担当理事	村越 妙美			
大道 伊奈子	平田 康太郎		部員	石山 亜希子	丸山 祥		
山本 潤(全体会計)	荻野 耕一			阿部 文香	矢野 竜也		
				西川 航平	菊地 美帆		
規約委員会	担当理事	鈴木 久義		白熊 千裕			

## 8. 各部・委員会分掌事項

### 事務局

1. 会員の入退会に関する事
2. 会員名簿に関する事
3. 内外の公文書に関する事
4. 議案書，会議資料，議事録に関する事
5. 会議案内，会議場設営，接待に関する事
6. 総会議事運営に関する事
7. 儀礼関係，内外の来賓に関する事
8. 資産の維持・管理に関する事
9. 各種刊行物の発行と保管に関する事
10. その他各部に属しないことに関する事

### 財務部

1. 予算編成に関する事
2. 会費その他の収入活動に関する事
3. 支出，決算に関する事
4. その他財務に関する事

### 学術部

1. 会員の臨床能力向上に関する事
2. 会員の実習指導能力向上に関する事
3. 会員の職場管理能力向上に関する事
4. 会員の研究活動推進に関する事
5. 会員の学術的発展に関する事
6. 学術誌編集に関する事
7. その他学術に関する事

### 教育部

1. 日本作業療法士協会生涯教育制度の推進，運営に関する事
2. 神奈川県内における special interest group (SIG) の認定，管理に関する事
3. その他生涯教育に関する事

### 広報部

1. ニュースの編集・発行など会員への情報発信に関する事
2. 国民，神奈川県民に対する作業療法の広報に関する事
3. その他広報に関する事

## 福利部

1. 新入会員に対するオリエンテーションに関すること
2. 会員間の交流に関すること
3. 作業療法の発展・推進に寄与した人物・団体等の表彰に関すること
4. 会員の倫理に関すること
5. 神奈川県内の求人・求職に関すること
6. その他福利厚生に関すること

## 地域リハビリテーション部

1. 地域における作業療法の普及・推進に関すること
2. 地域リハビリテーションにおける他職種・機関・組織との連携に関すること
3. 地域で暮らす障がい者・家族，支援者等との連携に関すること
4. その他地域リハビリテーションに関すること

## 制度対策部

1. 社会保障制度に関すること
2. 作業療法関連法規に関すること
3. 福祉用具の普及・発展に関すること
4. その他福祉用具に関すること
5. 災害対策に関すること
6. その他作業療法関連制度に関すること

## 規約委員会

1. 定款の管理に関すること
2. 諸規則・規程の策定・修正・変更に関すること
3. その他規約に関すること

## 認知症対策委員会

1. 認知症に対する作業療法の普及・推進に関すること
2. 認知症に関連する他職種・機関・組織との連携に関すること
3. その他認知症に関すること

## ウェブサイト管理委員会

1. ウェブサイトの管理に関すること
2. メールアカウントの管理に関すること
3. その他ウェブサイトに関すること

## 学会評議委員会

1. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の計画に関すること
2. 神奈川県作業療法学会学会長，神奈川県臨床作業療法大会長の推薦に関すること
3. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の適正遂行に関すること
4. 神奈川県作業療法学会実行委員会，神奈川県臨床作業療法大会実行委員会との連絡・調整に関すること
5. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の資料保管に関すること
6. その他神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会に関すること

## 生活行為向上マネジメント推進委員会

1. 生活行為向上マネジメントの普及・推進に関すること
2. 生活行為向上マネジメントについて，日本作業療法士協会との連携に関すること
3. 生活行為向上マネジメント実施状況の調査に関すること
4. その他生活行為向上マネジメントに関すること

## 公益法人化対策委員会

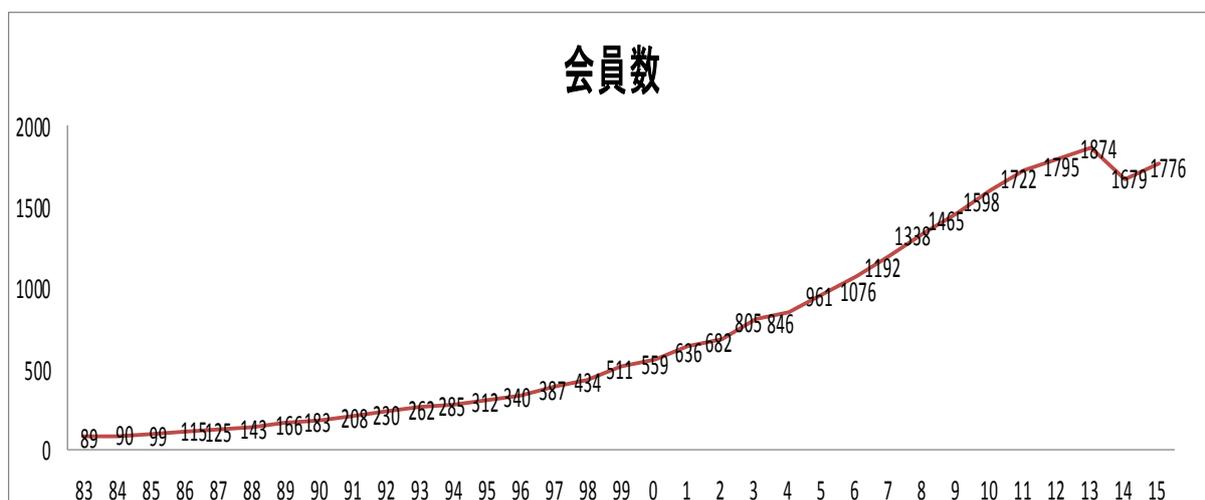
1. 公益認定申請・更新に関すること
2. 公益法人の登記に関すること
3. 公益目的事業に関すること
4. その他公益法人格取得に関すること

## 9. 一般社団法人神奈川県作業療法士会会員数結果(2016年2月28日付)

調査は日本作業療法士協会の会員管理システムのデータをもとに、県士会データベースの情報を一部加えて作成した

### I 会員データ

15年度現在会員数		1776 名
内訳	施設会員 (常勤)	1607 名
	自宅会員 (非常勤・休業)	169 名



## 1. 分野別会員数

分野別県士会員数の経時変化

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
身障	289	310	350	410	512	586	656	742	829	902	937	959	1025	1084	1126
精神	110	116	120	147	189	215	222	235	260	533	244	244	274	238	238
小児	54	53	51	51	72	74	81	88	83	80	78	79	101	91	90
老人	84	94	114	131	258	300	341	389	458	94	260	292	543	461	464
その他	0	1	1	4	8	8	14	15	20	12	10	9	20	23	25
総合*1)	15	13	13	10	17	14	13	13	12	21	6	6	10	13	12
未回答	84	95	156	94	11	19	46	78	103	147	187	206	235	38	53

\*1)身障・精神・小児・老人の3分野にまたがり主従つけられない \*

\*2)重複回答あり

## 認定作業療法士関連データ

認定作業療法士	44
基礎研修終了者	57
専門作業療法士	4

